

令和2年度 前期選抜の選抜・評価方法

学校番号 117

千葉県立袖ヶ浦高等学校

全日制の課程 普通科・情報コミュニケーション科

1 期待する生徒像

次のア又はイのいずれかの要件を具備する者

ア 学業成績が特に優秀で、人物が優れ、入学後の明確な目標を持っていること。

イ スポーツ活動、文化活動等に優れた技能を持ち、学業成績が優秀であって入学後も引き続きその活動を行う意欲があること。

2 選抜資料

(1) 学力検査	5教科の学力検査の得点
(2) 調査書	中学校の校長から送付された調査書
(3) 面接	面接官2名の個人面接 検査時間3分程度
(4) 自己表現	次のア、イのいずれかを、出願時に志願者が選択 ア 口頭による自己表現 日本語による自己アピール 実施形態：個人で発表 検査時間、3分程度 イ 実技による自己表現 次の部活動のうち1つを選択 野球(男)、サッカー(男)、バスケットボール(男女)、バレーボール(男女)、 バドミントン(男女)、卓球(男女)、陸上競技(男女)、ソフトテニス(男女)、 剣道(男女)、柔道(男女)、新体操(男)、吹奏楽(男女)、書道(男女)、 テニス(女) 実施形態：個人で発表 部活動によっては集団で発表 書道については作品制作発表 検査時間：1人あたり3～5分程度 書道については50分

3 評価項目及び評価基準

(1) 学力検査 [500点満点]

評価項目	評価基準
5教科の得点合計	5教科（各教科100点満点）の合計500点満点で評価する。

(2) 調査書 アの数値を調査書の得点とする

評価項目	評価基準
ア 教科の学習の記録	算式1で求めた数値で評価する。 評定1又は未評価の教科がある場合、審議の対象とする。
イ 出欠の記録	各学年において30日以上欠席がある場合、審議の対象とする。
ウ 行動の記録	○が一つもない場合は審議の対象とする。
エ 特別活動の記録、部活動の記録及び特記事項	特に優れた内容と認められる記載がある場合は、総合的に判定する際の参考とする。
オ 総合所見	特に優れた内容と認められる記載がある場合は、総合的に判定する際の参考とする。

(3) 面接 [40点満点]

2名の評価者が、次の2つの評価項目ごとに、各評価基準に基づき、a（優れている）・b（標準的である）・c（標準に達していない）・d（問題がある）の4段階で評価する。

aを10点、bを6点、cを3点、dを1点とし、2名の評価者の評価（各20点満点）を合計し、得点化する。評価dが1つでもある場合は、審議の対象とする。

評価項目	評価基準
ア 志望理由・入学後の活動への意欲	志望理由が明確であり、入学後の活動（学習・部活動等）に対する目標を持ち、その活動への意欲が旺盛である。また、卒業後の進路に十分な意識を持っている。
イ 身だしなみ・態度・質問への応答	服装・頭髪等身だしなみが整い、基本的な面接作法を身につけている。質問を的確に理解し、適切に回答することができる。

(4) 自己表現〔60点満点〕

次のア、イについて、それぞれ2名の評価者が、3つの評価項目ごとに、各評価基準に基づき、a（優れている）・b（標準的である）・c（標準に達していない）・d（問題がある）の4段階で評価する。

aを10点、bを6点、cを3点、dを1点とし、2名の評価者の評価（各30点満点）を合計し、得点化する。評価dが1つでもある場合は、審議の対象とする。

ア 口頭による自己表現

評価項目	評価基準
(ア) 発表内容	発表内容が明確である。目標を持ち、積極的で充実した高校生活を送ろうとしている。
(イ) 表現力	表現力豊かに発表できている。
(ウ) 態度・意欲	アピール中の態度が適切である。総合的に入学後の活動意欲がみられる。

イ 実技による自己表現

評価項目	評価基準
(ア) 基礎的技能	基礎的技能を備えている。
(イ) 専門的技能	専門的技能を備え、実践および表現ができている。
(ウ) 態度・意欲・将来性	実技アピール中の態度が適切である。総合的に入学後の活動意欲が見られる。入学後の活躍が期待できる。

4 選抜方法

(1) 選抜の方法

ア 「学力検査の成績」と「調査書の得点」の合計により順位をつけたとき、次のパーセント以内にある者は、入学許可候補者として内定する。

(ア) 受検者数が予定人員以内のときは、受検者数の50パーセント

(イ) 受検者数が予定人員を超えるときは、予定人員の50パーセント

ただし、調査書の教科の学習の記録、出欠の記録、行動の記録、および第2日の検査（面接・自己表現）の結果等に問題となる点がないこと。

イ 上記アで決まらなかった者については、「学力検査の成績」と「調査書の得点」の合計に「第2日の検査（面接・自己表現）の得点」を加えた「総得点」で順位をつけ、選抜のための資料を慎重に審議しながら、予定人員までを入学許可候補者として内定する。

<総得点の満点の内訳>

学力検査の成績	調査書の得点		第2日の検査の得点		総得点
	調査書の得点	評定（算式1）	面接	自己表現	
500点	(135 + α - m)点		40点	60点	(735 + α - m)点

（算式1）α：県が定める評定合計の標準値95

m：中学校評定合計平均値

(2) その他

自己申告書が提出された場合には、選抜のための資料に加える。ただし、提出されたことにより、不利益な取扱いはいしない。

5 その他

過年度卒業者については、第2日目の検査終了後、別途個人面談を行う。

令和2年度 後期選抜の選抜・評価方法

学校番号 117

千葉県立袖ヶ浦高等学校 全日制の課程 普通科

1 選抜資料

(1) 学力検査	5教科の学力検査の得点
(2) 調査書	中学校の校長から送付された調査書

2 評価項目及び評価基準

(1) 学力検査

評価項目	評価基準
5教科の得点合計	5教科（各教科100点満点）の合計500点満点で評価する。

(2) 調査書

評価項目	評価基準
ア 教科の学習の記録	算式1で求めた数値で評価する。 評定1又は未評価の教科がある場合、審議の対象とする。
イ 出欠の記録	各学年において30日以上欠席がある場合、審議の対象とする。
ウ 行動の記録	○が一つもない場合は審議の対象とする。
エ 特別活動の記録、部活動の記録及び特記事項	特に優れた内容と認められる記載がある場合は、総合的に判定する際の参考とする。
オ 総合所見	特に優れた内容と認められる記載がある場合は、総合的に判定する際の参考とする。

3 選抜方法

(1) 選抜の方法

令和2年度千葉県公立高等学校入学者選抜実施要項に従い判定する。

(2) その他

自己申告書が提出された場合には、選抜のための資料に加える。ただし、提出されたことにより、不利益な取扱いをしない。
--

4 その他

過年度卒業者については、検査終了後、別途個人面接を行う。

※前期選抜等で入学許可候補者に内定した者のうち入学確約書を提出した者の数が、募集定員を満たした学科については、後期選抜を実施しません。

令和2年度 後期選抜の選抜・評価方法

学校番号 117

千葉県立袖ヶ浦高等学校 全日制の課程

情報コミュニケーション科

1 選抜資料

(1) 学力検査	5教科の学力検査の得点
(2) 調査書	中学校の校長から送付された調査書

2 評価項目及び評価基準

(1) 学力検査

評価項目	評価基準
5教科の得点合計	5教科（各教科100点満点）の合計500点満点で評価する。

(2) 調査書

評価項目	評価基準
ア 教科の学習の記録	算式1で求めた数値で評価する。 評定1又は未評価の教科がある場合、審議の対象とする。
イ 出欠の記録	各学年において30日以上欠席がある場合、審議の対象とする。
ウ 行動の記録	○が一つもない場合は審議の対象とする。
エ 特別活動の記録、部活動の記録及び特記事項	特に優れた内容と認められる記載がある場合は、総合的に判定する際の参考とする。
オ 総合所見	特に優れた内容と認められる記載がある場合は、総合的に判定する際の参考とする。

3 選抜方法

(1) 選抜の方法

令和2年度千葉県公立高等学校入学者選抜実施要項に従い判定する。

(2) その他

自己申告書が提出された場合には、選抜のための資料に加える。ただし、提出されたことにより、不利益な取扱いをしない。
--

4 その他

過年度卒業者については、検査終了後、別途個人面接を行う。
